

<様式1> 管理運営状況評価書

【対象年度:平成26年度】

(⑤その他の施設)

I 施設概要・利用情報

(単位:人、%、円、日)

施設名		森林果樹公園	担当課名	地域支援課
区分		内容・説明		
1 施設及び指定管理者の状況	(1)設置条例名	掛川市都市公園条例及び掛川市都市公園条例施行規則		
	(2)施設設置目的	「小笠山の美しい自然景観と貴重な資料を守るとともに、散策を楽しみながら、充実した果樹の見本園として広く市民の皆様に見ていただける生涯学習都市に相応しい公園」として整備され、公共の福祉に寄与することを目的とした公園である。		
	(3)施設が有する設備、機能の概要	全体面積12.5ha 40種類 1,200本の果樹 多目的広場 芝生広場 管理棟 直売所 野鳥観察小屋 展望台 園路		
	(4)施設建設年度	平成6年2月1日(供用開始日)		
	(5)耐震性能の有無			
	(6)将来予想される改修経費(想定年度と費用見込み)	防虫ネット改修(平成30年度頃 200万)		
		樹種転換(平成28年度 100万円)		
	(7)指定管理者名	公益社団法人掛川市シルバー人材センター		
	(8)指定期間	平成24年 4月 1日 から 平成27年 3月31日 まで		
	(9)施設の管理運営形態	①指定管理料のみによる運営		
	(10)自主事業の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 実施あり <input type="checkbox"/> 実施なし	※実施ありの場合は、収支状況をⅢ-(3)欄に記入のこと。	
	(11)その他事業の有無	<input type="checkbox"/> 実施あり <input checked="" type="checkbox"/> 実施なし	※実施ありの場合は、収支状況をⅢ-(3)欄に記入のこと。	
(12)事業報告書提出の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 提出あり(地自法第244条の2第7項による提出義務) <input type="checkbox"/> 提出なし			
(13)利用者満足度調査等実施の有無	<input type="checkbox"/> 実施あり <input checked="" type="checkbox"/> 実施なし	※実施ありの場合、(直近の実施年度 平成 年度)		

区分		H24実績	H25実績	H26実績	H27当初	備考	
2 利用状況	(1)施設利用者数	(目標値)	-	-	10,000	10,000	※協定書に記載した要求水準値を記入してください。
		(実績値)	8,330	9,192	9,013		
	内訳 (施設・設備ごと)		8,330	9,192	9,013		
区分		H24実績	H25実績	H26実績	H27当初	備考	
3 管理・運営状況	(1)指定管理者名						※1-(7) 現在の指定管理者と異なる年度のみ記入
	(2)利用者一人当たりの運営経費		1,274	1,110	1,149		
	(3)運営日数		302	307	306	306	
	(4)運営人員	①正規職員	0.0	0.0	0.0	0.0	※指定管理者の組織構成員全体の人数ではなく、当該指定管理施設で働いている実人数を記入してください。
		②臨時職員	10.0	10.0	10.0	10.0	

Ⅱ 施設管理に係るコスト情報

(単位:円、%)

区分		H24決算額	H25決算額	H26決算額	H27当初予算額	備考
(1)運営コスト(A)	①人件費	9,047,767	9,191,175	9,364,962	9,382,456	配分金+賃金+法定福利+福利厚生
	②印刷費	0	357	0	30,000	
	③通信費	106,183	120,049	121,288	180,000	テレビ+回線使用料+電話料
	④事務用品、旅費、図書費など	737,067	542,741	403,061	433,000	
	⑤借上料	284,865	206,115	221,756	250,000	
	⑥保険料、消費税(租税公課)等	165,140	135,000	232,000	267,080	消費税
	⑦その他(支払手数料、広告宣伝費、一般管理費、雑費)	271,788	5,760	13,218	318,464	廃棄物処理+振込支払+事務費
	計	10,612,810	10,201,197	10,356,285	10,861,000	
対前年度増減率			△ 3.9	1.5	4.9	
区分		H24決算額	H25決算額	H26決算額	H27当初予算額	備考
(2)施設コスト(B)	①管理委託費(外注費)	0	121,174	85,402	84,000	
	浄化槽法定検査		9,500	9,500	10,000	
	浄化槽保守点検委託料		111,674	75,902	74,000	
	②修繕費	1,673,494	1,315,858	1,708,694	1,046,000	
	③光熱水費	217,645	156,324	152,433	225,000	
	④燃料費	106,246	123,386	117,131	110,000	
	⑤清掃費	0	0	0	0	
	⑥保守点検費	152,019	0	0	0	
	⑦その他(施設消耗品)	1,037,786	1,604,061	1,239,371	1,334,000	肥料+農業資材+防除薬品+原材料費
	計	3,187,190	3,320,803	3,303,031	2,799,000	
	対前年度増減率			4.2	△ 0.5	△ 15.3

(3)トータルコスト(施設管理費 合計) (A)+(B)	13,800,000	13,522,000	13,659,316	13,660,000	
(4)合計のうち運営コストの割合	76.9	75.4	75.8	79.5	
(5)施設の収入 ※1)下記3に入力する	2,145,050	2,724,900	3,401,100		
(6)運営コストのうち利用料収入の割合	20.2	26.7	32.8		

Ⅲ 収支差額の状況 **注【指定管理料施設は(1)欄に、利用料金制度又は両制度併用施設は(2)欄に記入。また、自主事業を実施している施設は(3)欄に記入】**

(1)指定管理料のみで運営している施設

(単位:円)

区分	H24決算額	H25決算額	H26決算額	備考
a) 施設使用料収入	2,145,050	2,724,900	3,401,100	※果樹売り払い金は、掛川市へ収入される
b) 指定管理料	13,800,000	13,522,000	13,659,316	
収支差額 a) - b)	△ 11,654,950	△ 10,797,100	△ 10,258,216	

(2)利用料金制度施設又は指定管理料・利用料金併用制度施設

(単位:円)

区分	H24決算額	H25決算額	H26決算額	備考
a) 施設利用料金収入				※施設利用料金は、指定管理者へ収入される
b) 収支差額(a-トータルコスト)				
c) bに対する市の支出額(指定管理料)				

(3)自主事業及び指定事業・その他事業の状況

(単位:円)

区分	H24決算額	H25決算額	H26決算額	備考
a) 自主事業の収入				
b) 自主事業の支出				
収支差額 a) - b)	0	0	0	
c) その他事業の収入				
d) その他事業の支出				
収支差額 c) - d)	0	0	0	

IV 担当課による評価

(1) 施設設置目的の達成度

点数	評価基準	評価	改善を要する点(何を、いつまでに、どのように)
3	設置目的を達成できている	3	
2	設置目的をほぼ達成できている。		
1	設置目的を一部達成できていない。		
0	設置目的を達成できていない。		

(2) 協定書に記載した業務要求水準の達成度 <達成 3点、未達成 0点>

評価項目	要求水準	実績	評価	改善を要する点(何を、いつまでに、どのように)
A 施設全体の満足度			3	
B サービス内容の満足度			2	
C 従業員対応の満足度			1	電話が繋がりにくかったり、物販の対応をする者がいない場合がある。
D 施設安全対策の満足度			2	
E 美観・清潔感の満足度			3	
F 施設の利用者数			3	

※協定書の業務要求水準及び実績を記載し、評価については要求水準に達していれば3、達していなければ0としてください。

(3) 収支の改善状況

点数	評価基準	評価	改善を要する点(何を、いつまでに、どのように)
3	黒字である。	1	販売データを基に売れる果樹に樹種転換していく。 地理的、面積的、投資予算的に厳しい状況下にあるため、現状維持しながらの収支改善は難しい。
2	収支均衡している。／前年度より収支差額が縮小(改善)している。		
1	赤字である。／前年度と同等の収支差額である。		
0	大幅な赤字である。／前年度より収支差額(赤字)が増えている。		

(4)安全対策・危機管理体制など

点数	評価基準	評価	改善を要する点(何を、いつまでに、どのように)
3	利用者の安全対策や危機管理体制は万全である。	2	園路・販売所等の老朽化により安全性確保は喫緊の課題である。 26年度、放送設備を導入しており、2～3年かけて、安全性を高めていく。
2	万全とは言えないが、事故等が発生する確率は低い。		
1	安全対策・危機管理体制は整っているが、昨年度事故等が発生している。		
0	利用者の安全対策や危機管理体制に不備があり、改善が必要である。		

(5)本施設(事業)の継続性と行政の関与について

点数	評価基準	評価	改善を要する点(何を、いつまでに、どのように)
3	民間が実施できる事業であり、行政が実施しなくてよい。 (施設の貸付、売却、譲渡、独立採算制などを検討)	0	公園の性質上、収支バランスは考えられない。市の管理する公園の一つとして、規模を縮小して市民の憩いの場として整備していくべきと考える。
2	民間が実施できるが、行政の関与が必要である。 (直営化、一定額指定管理料制度など)		
1	現在の指定管理で良いが、大幅な経営改善が必要である。 (独立採算制、一定額指定管理料制度への移行など)		
0	民間では実施できない、担い手がないため、行政がやるべきである。 (直営化、収支差額補てん型指定管理者制度など)		

(6)総合評価

点数	評価基準	評価	改善を要する点(何を、いつまでに、どのように)
3	本施設の指定管理者として、特に優れている。最適である。	3	
2	本施設の指定管理者として、問題はなく適当である。		
1	本施設の指定管理者として、やや劣っている。改善を要する。		
0	本施設の指定管理者として、著しく劣る。適当でない。		

合計

23

/ 33

V その他自由意見

--